

J R 東海 労
大二運分会

交差点

No. 292

2011年3月15日
責任者：高原弘幸
発行：教宣部

**節電する、しない・・・？
いち早く「通常運行」を決行！？**

3月13日夜、今回発生した東日本大震災により東京電力の供給電力不足により、東京電力は計画停電を発表し、各鉄道会社は始発ぎりぎりまで運行か運休かの判断がずれ込みました。私鉄の一部では早々に運休を決めたケースもありました。

そうした状況の中で、J R 東海は「通常運行」をいち早く決行し、マスコミが報道しました。

しかし、計画停電が実施されれば他社鉄道会社の運休等で乗務員が出勤できないため必要人員を確保することが出来ない上、さらに乗客も激減することは必至でした。ましてや前日から乗務員を確保していない状況で「通常運行」を発表することは、ずさんで無計画と言わざるを得ません！！

結果的に鉄道の運行に使用される電力量が多大なことから14日始発より首都圏各鉄道会社は部分運休、大幅な間引き運行を実施することになりました。これに伴い東海道新幹線は「通常運行」を早朝から決行しましたが、運行された多くの列車には乗務員の確保が困難な中で通常車掌3人乗務のところ2人乗務として運行し、さらに間引き運行に切換えました。

以上のように「東海は正常運行が基本」と会社の担当者は言っていますが、節電が必要だという社会の動向、他の鉄道会社の動向を考慮しない「唯我独尊的姿勢」と「上の言うことは黙って聞け」という我が社の悪しき体質が露呈されたものと厳しく忠告します。